

平成 22 年度 岩倉中学校区地区懇談会開催

8月22日(日)に岩倉中学校において、4つの分科会にわかれて地区懇談会が行われました。大変暑い中、休日にもかかわらず約150名の参加があり、各分科会ごとに、テーマについて考え、意見を交換しました。

【第1分科会】中学校、あれこれ！ ～学習・進路・生活・部活等、お答えします～

第1分科会では、岩倉中学校の生徒指導主事の服部先生とボランティア活動担当の宮田先生から岩倉中学校の生活について、映像を交えて紹介していただき、その後、質疑応答と意見交換を行いました。

内容

★ 学校の生活について

- ・ 岩中の教育課程・学習・進路について
- ・ 岩中の1年間の主な行事について
- ・ 部活動の現状と大会結果について
- ・ ボランティア活動について

★ 質疑応答・意見交換

- ・ 心の教育、道徳指導、読書活動の充実、進路指導について
- ・ 不審者対策、携帯電話、自転車通学・交通安全指導について
- ・ いじめ・生活面について

参加者の声

- ・ 分からないことばかりでしたので、いろいろなお話が聞けて参考になった。他の学年のお子さんを持つ保護者の方のお話も聞けてよかった。(小学生保護者)
- ・ いろいろな行事を計画され、実施されており、学校の大変さがわかった。(来賓)



【第2分科会】 食育のすすめ！ ～かみかみセンサーをつくろう～

第2分科会では、豊橋市北部学校給食共同調理場栄養士の杉浦孝行氏を講師に迎え、100円ショップグッズを使った「カミカミマシーン（かみかみセンサー）」を作りました。

内容 ※カミカミマシーン：咀嚼した回数を調べる器具

★ 手作りの食育指導グッズの紹介

(変形カード、はてなボックス、モグラボックスなど)

★ 「カミカミマシーン」作り (材料：万歩計、ヘッドホン)

- ① 万歩計の裏ぶたを外し、糸通しの穴を開ける。
- ② センサー部に糸を結ぶ。
- ③ 裏ぶたを閉め、糸の端にプラスチック板をつける。
- ④ ヘッドホンに③の万歩計を取り付けて完成。



参加者の声

- ・ かみかみセンサー作りは子どもの頃の工作をするような感じで楽しく作れた。家に帰って子どもに試させてみたいと思った。(中学生保護者)
- ・ 実用的でとてもおもしろかった。楽しんでこそ学びにつながるのだと思った。(小学校教員)

【第3分科会】笑顔でさわやか ～親子関係がよくなるコミュニケーション～

第3分科会では、交流分析士インストラクターの大島愛子氏に良い親子関係を築くためのコミュニケーションの取り方をエゴグラム（5つの心の働きの関係とそのエネルギーの大きさを折れ線グラフで表したもの）のパターンを分析しながらのお話を伺いました。

内容

- ★ コミュニケーションとは
- ★ 誰にでもある5つの心
- ★ エゴグラムで見るパターンの分析
- ★ 良いコミュニケーションのために



参加者の声

- ・自分の個性と、子どもへの対応について振り返る良い機会となりました。5つの心のイメージのバランスを保ちながら、よりよいコミュニケーションにつなげていきたいと思う。(小学校教員)
- ・自分が変わらないと子どもも変わらないという言葉がとても重たかった。自分も足りない所を補って、お互い生きやすい環境を作っていきたいと思った。(中学生保護者)

【第4分科会】こんなときどうする ～親として子として～

第4分科会では、子どもを健やかに育てるための方法を、実際の場面を想定した劇を通して、参加者で悩みを共有し、相談しました。

内容

- ★ お小遣いの金額や使い方について
- ★ 部活と勉強の両立について
- ★ 子どもだけで買い物に行くことについて
- ★ 子どもの言葉遣いや忘れ物について



参加者の声

- ・子育ては練習がないため難しい。中学校の教員であるが、生徒と自分の子どもとは視点が異なると感じている。(中学校教員)
- ・親として考えを通そうとすると、大変なストレスがたまる。感情的にならず、子どもにも声かけが必要であると感じた。(中学生保護者)

【キッズルーム】園児・小学生低学年対象

保護者の方が懇談会に参加されている間、お子様をお預かりし、岩倉中学校理科教師指導のもと簡単な科学マジックを見せたり、ペットボトルロケットを製作したりしました。参加する子どもたちの楽しむ姿や作成した浮沈子などを喜んで持ち帰る姿が印象的でした。

